



クラブテーマ

春日井ロータリークラブ

2015～2016年度 WEEKLY REPORT

「奉仕・親睦」をよく知ろう
 「奉仕・親睦」を一人一人のレベルで日々実行しよう
 「奉仕・親睦」を皆で共有し、祝福しよう
 たくさんの達成感と充実感を得よう

会長 : 志水ひろみ
 副会長 : 名畑 豊
 幹事 : 長谷川英輝
 会報委員長 : 成瀬 浩康

例会日 : 金曜日 12:30～13:30
 例会場 : ホテルプラザ勝川
 事務局 : 春日井市鳥居松町 5-45
 TEL : (0568) 81-8498
 FAX : (0568) 82-0265
 E-mail : Ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



ニュートン科学館



ニュートンのリンゴの木

本日のプログラム

- 司会 青山 博徳君
 志水ひろみ君
- ・点 鐘
 - ・ROTARY SONG 「四つのテスト」
 - ・今月の歌 「もみじ」
 - ・ビジター紹介 志水ひろみ君
 - ・食事・歓談
 - ・委員会報告
 - ・会長挨拶 志水ひろみ君
 - ・I M
 - ・幹事報告 長谷川英輝君
 - ・点 鐘 志水ひろみ君

今月の歌

もみじ

秋の夕日に 照る山もみじ
 濃いも薄いも 数ある中に
 松をいろどる 楓や蔦は
 山のふもとの 裾模様

先週の記録

会長挨拶 会長 志水ひろみ君

先日、地区のWFFが開催されました。
 先々週には春日井市において第 35 回福祉のつどいが開催されました。
 東尾張分区の会長幹事会がありまして、今回のWFFが盛況に終わったこと
 二日間実施されましたが、前日だけで1万人の参加者があっそうです。
 春日井市社会福祉協議会におきまして第 35 回福祉のつどいでは11,100人の
 参加者があったそうです。どちらの事業も市民のかたがたに歓迎をされているのですね。
 また13日には春日井クラブの増強委員会にて入

2015年11月28日(土)第2257回(11月第4例会)

会3年未満の会員さん対象のオリエンテーションが開かれ、屋嘉比情報委員長と山田財団委員長の講師にてロータリーについて学びました。
 増強委員会さんの熱心な呼びかけに、参加していただいた会員さんはもちろんですが、お二人の講師さんにはたいへんご苦勞をおかけしました。
 本日は地区の財団委員会の鈴木文勝委員長様においていただいております。

鈴木文勝委員長様はロータリー財団メジャードナー ポールハリス・ソサエティ、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネフェクター、米山功労者と認証されておられます。春日井クラブでは米山功労者メジャードナーとして新見治男会員がおられます。

メジャードナーとは合計累積寄附が米貨10,000\$に達した個人または夫婦は、大口寄附者として認証されます。2760地区メジャードナー数 55人+AKS 1人

ポールハリス・ソサエティ
 ポールハリス・ソサエティとはロータリー財団に毎年1,000ドル以上寄付する人は、ポール・ハリス・ソサエティの会員となります。2005年1月末現在、日本では110人がポール・ハリス・ソサエティの会員となっています。毎年1,000ドル以上を年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトのいずれかに寄付したロータリアンおよびロータリー財団の支援者であることを目的としている

歴史
 ポール・ハリス・ソサエティは、1999年、第5340地区のパスト・ガバナー、ウェイン・キュージック氏によって創設されました。キュージック氏はすべてのロータリアンが毎年1,000米ドルを財団へ寄付することは難しいと認識しながらも、一方で多くのロータリアンにはでは17地区63クラブが寄付ゼロクラブを達成

疫病予防と治療月間

例会予定	12月4日(金)	12月11日(金)	12月18日(金)	12月25日(金)
	理事役員会 11:30	祝福	家族会	休会 定款6-1
	年次総会	卓話加藤 宗生君	ホテルプラザ勝川	
			18時～	

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

出来ていませんでした。皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。世界では、日本が寄付総額は2番目でしたが、韓国が肉薄して来ています。日本に期待される世界への貢献に対する期待度はますます高まって来ています。

3年前に皆様からご寄付頂いた年次基金と恒久基金の利息は、地区活動資金（DDF）として地区に戻ってきます。地区活動資金（DDF）は、地区補助金とグローバル補助金として、社会奉仕、人道奉仕、V T T、奨学資金に利用することが出来ます。地区補助金は、地区内外、海外でも利用することが出来ますが、比較的少額なプロジェクトに利用されます。地区補助金は、地区の裁量でプロジェクトを進めることが出来て利用しやすくなっています。地区補助金は、複数のプロジェクトに利用できますが、一括で申請しなければなりません。地区補助金の申請期限が短すぎるとのご意見を伺いますが、短期でプロジェクトを決めるのではなく、2年前3年前から複数のプロジェクト候補を掲げ、準備を進めて頂くようなスパンを考えて頂きより充実したプロジェクトを推進したいと存じます。グローバル補助金は、重点6分野の範囲の中で利用し、3万ドル以上のプロジェクトに使用することが出来るとともに、海外の地区またはクラブとの共同プロジェクトに利用することに制限されていますので、一層、複数年度前からの企画準備を進めて頂くことが肝要です。実施に向けて困難な課題はあるかも知れませんが、果敢に挑戦して頂きたいと思えます。

補助金を利用する場合の要件の詳細は、最新の「授与受諾の条件」を確認しなければなりません。大きな資格要件として、二つの要件をあげます。一つは、8月に開催されるR財団セミナーと2月に開催する補助金管理セミナーに出席して頂きたいと思えます。二つ目に、地区とクラブ間で、MOUを締結して頂きます。グローバル補助金を利用する際、最新の「授与受諾の条件」を確認するとともに、信頼できる共同提唱者かどうかをチェックしてください。問題のあるプロジェクトが先方提唱者の責任だったとしても、同様の責任が問われます。

地区補助金の利用できる範囲は広いですが、周年の式典などには利用できません。ただし、周年のタイミングで奉仕プロジェクトを行うことは問題ありません。昨年度より青少年育成事業にも利用可能になりました。毎年連続して同じ事業の実施は推奨されておられません。その趣旨は、年とともに社会のニーズは変化するので、恒例事業に補助金枠が取られてしまうことを避けるためです。最近地区補助金の事業の認可ハードルが低いこと

もあって、補助金の使われ方に問題があるケースが見受けられます。ご注意をお願い致します。

当地区は未来の夢計画3年間のパイロット期間を経て現在がありますので、他の地区より先進的に取り組まれています。ただ、2013-2014年度から2014-2015年度までの2年間を切り取って、他の地区と取組み状況を比較してみますと、グローバル補助金に関しては取組み数が多いとは言えません。是非、クラブ様には、グローバル補助金を利用したプロジェクトに挑戦して頂きたいと思えます。

2014年に、絶対にポリオフリーは不可能だと言われていたインドがポリオ撲滅宣言をいたしました。2015年9月25日付けで、WHO（世界保健機構）は、ナイジェリアを野生株ポリオ常在国リストから解除致しました。残るは、パキスタンとアフガニスタンの2国になりました。この2国も昨年と比べると大幅に減少しています。世界からポリオが撲滅されるのは目前です。しかし、最後まで気を抜くことは出来ません。

R I とロータリー財団の関係はどのようになっているかの質問がありました。国際ロータリーとロータリー財団はあたかも同格の別組織のように認識されがちですが、「国際ロータリーの中のロータリー財団の位置づけである」ことをご認識ください。ロータリー財団はR I の方針・戦略を受けて、具体的活動を推進する役割を持っています。「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」というロータリー戦略計画を支えるために、2015年7月1日か始まる3年間のロータリー財団の優先事項が提案されました。優先項目1. 永久にポリオを撲滅する。優先項目2. R財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付の向上を図る。優先項目3. 補助金を通じて、人道的奉仕の質と量を向上する。優先項目4. R財団100周年（2016-17年度）に向けてイメージと認知度を高める。これらの目標は、今後の進捗状況によって変更がされる場合があります。今後とも、ロータリー財団にご理解ご協力をよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



卓話

鈴木文勝君